

ひまわり



令和元年5月7日(火)

「令和」の始まりです



新天皇陛下が5月1日、即位されました。先の天皇、皇后両陛下は4月30日に退位され、上皇、上皇后となりました。即位、退位は、日本国憲法および皇室典範特例法の規定により行われました。

皆さんは、小学校6年生の社会科で、天皇の地位について「天皇は、日本国・日本国民統合の象徴であり、その地位は主権のある日本国民の一致した考えに基づく」*1のものであると学習しています。また、天皇が行う「内閣総理大臣を任命すること」「憲法改正、法律、政令及び条約を公布すること」などの国事行為についても学習しました。その中で、天皇についての理解を深める学習をしました。

新天皇陛下の即位に伴い、元号が「平成」から「令和」になりました。元号は、日本を含む東アジア地域で使われている、または使われていた年を数える方法です。日本の元号は、飛鳥時代の「大化」が最初の元号です。これまでも、元号には国の安泰と国民の幸福への深い願いが込められてきました。

「令和」にも、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められています。万葉集の「初春の令月(れいげつ)にして 気淑(よ)く風和(やわ)らぎ 梅は鏡前(きやうぜん)の粉(こ)を披(ひら)き 蘭(らん)は珮後(はいご)の香(かう)を薫(かお)らす」から引用されたものです。万葉集は天皇・皇族・貴族だけではなく、防人(さきもり)・大道芸人・農民まで、幅広い人々が詠んだ歌が収められ、我が国の豊かな文化と長い伝統を象徴する歌集です。このような書物から引用された「令和」の時代に、大きな期待を持ちたいものです。

令和の時代が、平成の時代と同様、戦争のない時代であることを共に願っていきましょう。また、日本は少子高齢化や年金問題など、多くの社会的問題を抱えています。平和の維持、社会的問題の解決に向け、これからの時代を生きる皆さんは、学びを一層深め、学んだことをよい形で社会に還元していく必要があります。あわせて、他国および他国の人々と手を携え、互いの歴史と文化を尊重し合いながら、平和な世界を創造する担い手となってください。

*1 日本国憲法第1条：「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。」

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>